

医師の団体の在り方検討委員会
中間報告

平成28年12月

日本医師会
医師の団体の在り方検討委員会

日本医師会 医師の団体の在り方検討委員会 中間報告

I. 本委員会設置の背景

わが国では、医師が自由に診療科や診療場所を選ぶことが可能であり、そのことがわが国の医療の特長の一つとされてきた。一方、医療におけるさまざまな課題に対し、医師の自律的な取り組みをもって、国民の信頼に応えていくことが、今まで以上に期待されている。とりわけ、現在、議論が進められている医師の偏在解消に向けては、早急な解決が求められている。

そこで、本委員会では、医師の自主性と自律性を発揮しながら医師の偏在を含む医療におけるさまざまな問題をどのように解決するのか、またそのためにはどのような医師の団体の在り方が必要なのかを検討することとした。

II. これまでの検討状況

第1回委員会 平成28年10月31日（月）

第2回委員会 平成28年12月8日（木）

III. 議論の方向性

本委員会設置の背景を踏まえ、当面、以下の論点を中心に検討を行う。

- 職業選択の自由の下、医師が自由に診療科や診療場所を選べることは尊重されるべきであるが、公的医療保険制度においては、医師の団体等が自主的・自律的に何らかの適切な仕組みをつくることについて、その必要性の有無を検討する。
- 上記の仕組みをつくるためには、多くの医師が参加する組織が必要であることから、今後、全員加盟の医師の団体を形成することの是非や可能性・実効性について検討する。

- 医師の偏在解消にあたっては、地域の医療事情に応じた対応が必要である。したがって、全国的な視野に立ちつつ、都道府県を単位として、医師の団体等が大学などと協働し、また行政とも連携して問題解決にあたる仕組みについて検討する。
- 本委員会では、これらの論点について、例えば保険医や保険医療機関の在り方等も含め、議論の深化を図っていく。

IV. 今後のスケジュール

平成 29 年春に最終報告を行う。

なお、最終報告は厚生労働省をはじめ関係各方面に広く周知する。

日本医師会 医師の団体の在り方検討委員会

- 委員長 本 庶 佑（京都大学名誉教授）
- 副委員長 今 村 聡（日本医師会副会長）
- 委 員 栄 畑 潤（損害保険ジャパン日本興亜株式会社顧問）
- 幸 田 正 孝（医療経済研究・社会保険福祉協会顧問）
- 森 山 寛（東京慈恵会医科大学名誉教授）
- 渡 辺 俊 介（国際医療福祉大学大学院教授）
- 尾 身 茂（地域医療機能推進機構（JCHO）理事長）
- 門 脇 孝（日本医学会幹事／日本医学会連合理事）
- 立 谷 秀 清（相馬市長）
- 堺 常 雄（日本病院会会長）
- 西 澤 寛 俊（全日本病院協会会長）
- 小 玉 弘 之（秋田県医師会会長）
- 空 地 顕 一（兵庫県医師会会長）
- 中 川 俊 男（日本医師会副会長）
- 松 原 謙 二（日本医師会副会長）
- 今 村 定 臣（日本医師会常任理事）
- 専門委員 畔 柳 達 雄（日本医師会参与・弁護士）
- 奥 平 哲 彦（日本医師会参与・弁護士）
- 手 塚 一 男（日本医師会参与・弁護士）
- オブザーバー 江 口 成 美（日医総研研究部専門部長）

[順不同]